



プロジェクト kaisei

挑戦者たち Challenger

「水辺スポーツ公園の歴史」



男は言った。
「町内にみんなが来てくれる使いやすい公園を作りたい」
男の名は池谷勝則さん(上島)。入庁以来土木一筋の町職員だった。
これは酒匂川河川敷を公園にするために奔走した人たちの熱きドラマである。



当時の酒匂川水辺プラン

発想

昭和62年、今から30年前、酒匂川を管理する県の河川管理計画に基づき開成町に酒匂川水辺プランプロジェクトチームが立ち上がった。
足柄大橋開通の前年のことであった。当時の町民意識調査によると、欲しいと思う公共施設のトップが「公園、緑地」だった。

「これからの長寿時代にお年寄りから子どもまでが一緒にスポーツやレジャーを楽しめる場所を、町民にとって故郷の川である酒匂川の河川敷につくりたい」と、花の広場、200mトラック、体育館、野鳥観測所などの建築構想が庁内で沸き上がった。
そのチームの想いが平成2年、池谷勝則さんらの設計、建設チームに引き継がれた。
「今までの想いをぜひ自分たちが実現したい。」池谷さんは固く誓った。

造成

最初に進入路と水路の建設、次に川から砂や砂利を運び入れ、河原の一部をグラウンドに変え、平成5年にパークゴルフ場がオープンした。

土手を観客席にするため県土木事務所と必死に交渉をした。子どもが遊ぶことができる親水水路をつくり、川側に円柱型のパラソル立てをつくり、釣りをする方の休憩スペースとした。

「今から考えると面白いことばかり考えていました。日々の仕事量は多くても、自分達で発案したことが現実化し、そこで楽しむ人を想像することが本当に楽しかったです。」池谷さんは当時を振り返って言った。

災害

河川敷ゆえの問題にも見舞われた。
平成22年9月、関東地方に上陸した台風は酒匂川の水を濁流に変えた。

夜、増水した深さ50cm以上の水が、みるみる公園を覆った。浸水した水の流入を防ぐため、不眠不休で対策に当たった。

復旧

公園の惨状を知った町内の人々が動いた。その中心となったのは中学生たちだった。

みんなの気持ちが公園の復旧に向けて一つになった。わずか数日で公園には歓声もどった。

町民の手で公園が生き返った瞬間だった。

回顧

「おもしろかったなあ。ああいうのをもう一回やってみたい。でも、あの頃は家にほとんど帰っていなかったな。町内の人がみんな歩いて水辺スポーツ公園に来てくれた。『俺がこんなに元気で生きてこれたのもこのおかげだ』と言われました。みんながここまで使ってくれて最高の気分です。」池谷さんは目を細めた。
水辺スポーツ公園が町のイメージや町民の生活スタイルを変えた。これは決して言い過ぎではない。公園であり続けるだろう。

取材後記

この記事を書き終わって改めて水辺スポーツ公園を訪ねた。その日もそこには子どもからお年寄りまで、たくさんの人たちの笑顔があふれていた。
池谷さんをはじめ、多くの方が30年前から一つひとつ描いた風景が現実になったのだ。春風を受けて土手を歩きながら私も笑顔になった。
今日もうつすらと雪をかぶった箱根の山からちよこっと頭を出した富士山が人々を見守っていた。
今回、ドキュメンタリー風にお届けしたこの特集。いかがだっただろうか。
まちづくり情報特派員 石塚 敦

おしらせ

がん検診の受診券が変わります！

問 保険健康課 ☎84-0327

平成29年度から、20歳以上の女性、40〜74歳までの皆さんに『平成29年度がん検診等受診券』をお送りしています。

検診ごとに1回の受診となりますので、がん検診を受ける機会のない方は、忘れずに受診をしましょう。

【実施期間】平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

【受診方法】受診の際には、医療機関か保健センター検診のいずれかを選んで受診してください。

医療機関をご希望のかたは取扱医療機関に予約をして受診してください。

保健センター検診は、問診票等を事前に送付しますので、保険健康課へお申込みください。

【持ち物】がん検診等受診券、健康保険証、自己負担金、健康手帳（お持ちの方）



新しくなった受診券(A4サイズ)

「がん」を早期に発見しよう

「まだ若いから大丈夫」「自分には関係ないだろう」：『がん』は今や2人に1人がかかり、3人に1人が『がん』で亡くなる時代です。

しかし、医療の進歩により、一部の『がん』では早期発見・治療が可能になってきました。『がん』は早期発見・治療ができれば完治の可能性が高くなります。

『早期のがん』では症状が出ないことが多いので、早期発見のためには定期的ながん検診の受診が大切です。

検診の種類

胃がん検診・・・バリウム（造影剤）と発泡剤（胃を膨らませる薬）を飲み、レントゲンで胃の状態を撮る検査。
肺がん検診・・・胸のレントゲンを撮る検査。喫煙や職業、自覚症状により、危険性が高い方のみ、喀痰細胞診検査を実施。

大腸がん検診・・・2日分の便を専用キットに取って便を提出する検査。

胃がんリスク検診

胃がんリスク検診は、「がんを見つける検査」ではありませんが、「ヘリコ

保健センター検診のご案内

バクテリア・ピロリ菌感染の有無を調べる検査」と「胃炎の有無を調べる検査」を組み合わせて、胃がんになりやすいかをリスク（危険度）分類するものです。また、検査方法も問診と血液検査のみなので気軽に検査できます。
今年度、40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳になられる方は、胃がん検診もしくは胃がんリスク検診を選ぶことができます。受診希望の際は必ず予約が必要です。

胃・肺・大腸がん検診を同時に受けられます。
【実施日】5月15日(月)・16日(火)・17日(水)・18日(木)

胃がんリスク検診
【実施日】9月2日(金)・3日(土)・5日(月)・6日(火)・7日(水)

申込み
保険健康課 84-0327



イベント **カタツムリになる一日～開成町あじさいまつり～**

問 産業振興課 ☎84-0317

6月3日(出)から6月11日(日)まで、開成町あじさいまつりを開催します。今年30回目となる記念の年です。あじさいの里いっばいに咲き誇るあじさいを見にお越しください。